



中秋の名月・十五夜



2024年の十五夜の日は9月17日（火）です。

昔、カレンダーが無かったころ、月は特別に大事なものでした。月がだんだん丸くなって欠けていく様子を見て月日を知り、田畑の仕事に役立てました。月明かりで遅くまで作業のできることの感謝の念をあらわしたものが十五夜です。

とくに秋の満月はとてもキレイに見えるので、月を眺めて楽しみ、実った作物を供えて豊作を感謝します。十五夜の月は『中秋の名月』と呼ばれ、昔からこの時期が月見に良い季節とされてきました。これは芋類の収穫を感謝する「芋名月」とも呼ばれています。

月を観賞する風習は中国に古くからあって、日本へは平安時代の貴族に伝わり、それから武士や町民にも広がりました。

十五夜には月見団子を作ってお供えするのがお約束ですが、お団子の数は平年は12個、うるう年の日は13個をお供えするのだそうです。今年うるう年なので13個お供えしましょう！

外国には10月の終わりにハロウィンがありますが、お月見にも日本版ハロウィンとも言うべき『お月見どろぼう』という風習があります。軒先などにおいてある月見団子を子ども達が盗み食いしてまわるのですが、もちろん本当の泥棒ではなく、わざと置いておいて子ども達に食べてもらうのですが、これはたくさん盗まれた方が縁起が良いとされていますwww。

一般にお月見はお酒を飲みながら月見団子や里芋、柿、梨などをお供えし、ススキや秋の七草を生けたりして月を眺めます。このススキを軒先につるしておく一年間病気をしないという言い伝えもあるようです。

十五夜は、秋になったんだなぁと実感できる日なので、こういう風習も都会を中心に消える傾向にありますが、日本文化を大事にたまにはゆっくりと月を眺めてみるのも良いでしょう。

9月17日（火）の献立はマ○ドナルドもびっくりの月見バーガーや甘い月見団子も出ますので楽しみに～！

・・・でも本当の満月は次の日の9月18日（水）ですw

